

お知らせ

神栄テストマシナリーが『YOSHIDA SEIKI』試験機事業を継承します

平成27年4月1日をもって、『YOSHIDA SEIKI』ブランドで展開しております試験機および計測器事業を新設する神栄株式会社の100%出資子会社である神栄テストマシナリー株式会社が神栄テクノロジー株式会社から事業継承いたしました。事業移管に伴う事務手続きについては、下記問い合わせ先にご連絡ください。今後とも引き続きご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

http://www.yoshida-seiki.co.jp/pdf/STM_info..pdf

<本件に関わるお問い合わせ先>

(5月14日まで)

神栄テストマシナリー株式会社 本社分室
TEL. 03-5462-7526(代表) FAX. 03-5462-7528

(5月15日以降)

神栄テストマシナリー株式会社 本社
TEL. 029-848-3570(代表) FAX. 029-848-3572

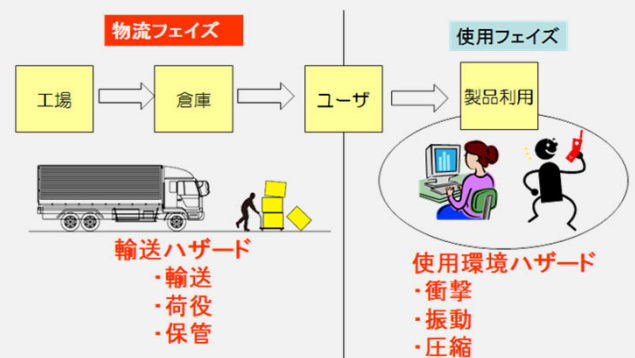
落下・衝撃試験機の基礎

1. 落下・衝撃対策のポイント

製品の流通過程として、一般的に **工場出荷→物流センター→エンドユーザ** となり、その後、製品は実際に利用されることになります。このような製品の流れの中で、製品が落下・衝撃事象に遭遇するポイントは大きく2つのフェイズに区分することができます。

一つは、工場からエンドユーザまで届けられる「物流フェイズ」です。ここで製品は様々な輸送ハザードから保護するために包装されていますが、荷捌きや積み込み時の落下事象が、製品破損の原因となります。ここでの対策は包装設計を見直しなどが考えられます。

もう一つは、実際に製品が使用される「使用フェイズ」です。TVや冷蔵庫のように、据え付けられる製品であれば、ここでの落下衝撃事象は深く考慮する必要はありませんが、携帯電話デジタルカメラノートPCなど、持ち運びされやすい小型機器は、その使用中に誤って落とされて、破損することがあります。この場合には、製品自体を強化する対策が必要です。このように、落下・衝撃事象に対する対策を講じていくときには、どのシーンで、どのようなハザードが発生するかを事前に把握しておく必要があります。



次回は物流フェイズにおける評価試験について説明します。(川口)

セミナー・展示会情報

①展示会告知

TEST2015(日本試験機工業会主催) 出展予定

開催日 : 2015年9月16日~18日

<http://www.cnt-inc.co.jp/test/>

②セミナー情報

輸送包装セミナー「輸送問題と解決への取り組み」

開催日 : 2015年5月22日(金)

場所 : 神栄ビル3F 会議室(神戸三宮)

費用 : 無料

案内場兼申込書は下記リンク先をご参照ください。

<http://www.yoshida-seiki.co.jp/seminar/seminar20150522.doc>

(ワードファイルが開きます)

今月のスタッフひとこと

営業部の 熊田 晴男 と申します。ニュースレターの中で順番にスタッフの自己紹介をさせていただくことになりました。私は主に東日本での試験機器および計測器の営業を担当しております。

長年、試験機に携ってきた経験に加えて、様々な情報や新しい技術も取り入れて、お客様の課題に応じたご提案から解決まで一貫しての技術営業対応をしております。

衝撃試験、落下試験でご相談ございましたら是非とも気軽に御連絡くださいませ。

お問合せ先

営業部 熊田 晴男(くまだ はるお)

TEL 03-5462-7526 (5/14まで) 029-848-3570 (5/15以降)

